

9月は、運動会や文化祭、音楽会等の大きな行事に向けて学年や学級で準備を進めることが多くなります。見映えや聴き映えのする発表にしたいという思いが強くなりすぎると、教師がリードし過ぎてしまいがちになります。適切な目標設定や役割分担等をさせたり、活動の中で互いを認め合うことの心地よさを味わわせたりすることにより、子どもたちの主体性や、学年や学級への所属感を高めたいものです。



<小学校>

学校行事でまとまる学級づくり

子どもたちも職員も準備に追われがちな学校行事ですが、集団の中で自己を発揮し、互いに認め合うことで、学級がまとまる機会となります。
こんな一工夫はどうでしょうか。



- ①クラスの目標を決め、模造紙などの中央に大きく書きましょう。
- ②一人一人が目標達成のために自分ができることを紙に書き、目標の周りに貼って、意識できるようにしましょう。
- ③帰りの会などの時間に、自分ができたことや友だちのできたことを発表し合う場を設けましょう。
- ④教師も、裏方で努力する子どもやこつこつと取り組んでいる子どもたちの姿を取り上げ、認めたり褒めたりしましょう。

このような活動を通して、互いに認め合える学級の雰囲気をつくりましょう！

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

班のオリジナルワッペンを作ろう

～縦割り班の活動で人間関係づくり～

自発的、自治的な活動の場や機会を増やすために、異年齢集団による活動が行われます。異なる年齢での人間関係づくりが苦手な子どもたちの人間関係形成能力を伸ばし、相手を思いやる心を育てる視点から、班のシンボルとしてワッペンを作る活動を設定してみるのはいかがでしょうか。

○ワッペンづくり

- ・班でデザインを考える。
- ・画用紙に描く。
- ・ラミネートをする。
- ・安全ピンを付ける。



出来上がったワッペンを発表し合い、互いのよさを認め合う場を位置付けることも考えられます。作る過程で協力することを学ぶとともに、班で作ったワッペンを身に付けることで、その後の班活動の際には仲間意識をより強くすることでしょう。

<中学校>

「憧れ」でつながる文化祭

文化祭の中で、合唱コンクールなど学級ごとに取り組む活動を位置付けている学校もあると思います。「学級のまとまりをつくるチャンス」である反面、生徒の意欲がなかなか高まらず、気を揉むこともあるでしょう。こんなとき、「先輩クラスとの交流会」をしてみませんか。

- ◇がんばって取り組んでいる先輩クラスと、合唱交流会など一緒に取り組む活動を仕組みます。先輩の真剣に取り組む姿に憧れをもち、活動に前向きになる生徒が現れてくるはず。
- ◇さらに、定期的に交流の機会をもち、取組への評価やアドバイスを先輩クラスからもらうことで、自分のクラスの成長を感じたり、更なる取組の見通しをもったりすることが出来るでしょう。

先輩クラスにとっては、「後輩たちに、どんな姿を見せたい？」と問いかけることで、後輩クラスの思いに応える取組へとさらに高まることが期待できます。

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

互いのよさを認め合う場面の工夫

互いのよさを認め合うことは、よりよい人間関係をつくっていくために重要なことです。これは、キャリア教育で育てたい資質・能力の【人間関係形成・社会形成能力】にあたります。

そこで、毎日の短学活で、互いのよさを認め合う活動を取り入れてみてはどうでしょうか。

- ◇帰りの学活で、隣の席の友だちなどのよさを付箋に書き、友だちに伝える。
- ◇付箋を模造紙等に貼って教室に掲示し、クラスで共有できるようにする。
- ◇生徒から挙げられた個々のよさを学級通信で家庭に伝える。



どんなに些細なことでも、自分のよさを認めてもらえるということは嬉しいことであり、それが、自己肯定感を高めていきます。

クラスの中で、互いのよさを認め合える雰囲気を築いていきたいものです。